

年頭の辞

九州運輸局鉄道部長 白浜 和之



令和3年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

鉄道は、地域住民の通勤・通学等の日常生活を支える交通手段であるとともに、地域コミュニティの強化や観光への取組みによる地域振興・活性化の観点からも重要な役割を担っているところです。

去年は、新型コロナウイルスの感染拡大、令和2年7月豪雨など、近年まれに見る重大な事象が発生する中、8月8日、平成28年熊本地震で被災していたJR豊肥本線が全線での運転を再開し、地域振興・活性化に向け動き出しました。

一方で、管内の鉄道事業者におかれましては、感染リスクにさらされながら、日々、安全運行を続けられていることに心から敬意を表します。また、列車内の換気、駅や列車内での感染拡大防止に向けたアナウンスなどの取組みも継続して実施いただいております。

経営面では、社会環境の変化も加わり厳しさを増していますが、社会のニーズを取込み、今後も安心・安全な運行の提供をお願いします。

令和2年7月豪雨では、管内の鉄道施設で甚大な被害が発生し、現在も、2事業者の3路線で運行を見合わせています。不通区間では、バス等による代行輸送が行われ、代替交通についてもご対応いただいております。被災した線区の復旧に際しては、関係自治体や鉄道事業者としっかりと議論し、どのような支援が可能かについて検討してまいります。

また、9月には、過去最強クラスと言われた台風10号が九州に接近し、鉄軌道各社から「計画運休」が発表されました。今後も、このような大型台風などの影響による「計画運休」を実施される際には、利用者や外国人旅行者への多言語化での情報提供など、きめ細やかな対応をお願いします。

九州新幹線鹿児島ルートは全線開業から10年目を迎え、観光客や通勤通学の移動手段として、ご利用は順調に推移しております。西九州ルートは、武雄温泉駅～長崎駅間を令和4年秋ごろの開業を見込んで整備が進められています。

福岡市交通局七隈線（天神駅～博多駅間）の延伸につきましては、全てのシールド掘進が完了するなど、令和4年度の開業に向けて工事が進められています。

鉄軌道の最大の使命は輸送の安全確保であります。大量輸送機関として、地球環境が社会問題化する中において環境負荷の軽減など、その役割は

ますます重要性を増しています。

鉄軌道各社におかれましては、より一層の安全対策を講じ事故防止の推進をお願いします。

九州運輸局といたしましては、安全・安心で快適な輸送サービスの実現に向け、皆様のご理解・ご協力を得ながら様々な課題に取り組んで参る所存です。

結びに、皆様のご健康とご多幸を祈念して新年のご挨拶といたします。